

北海道教育委員会教育長 様

北海道美瑛高等学校長 升 田 重 樹

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 学校課題を共有し、常に改善を志向し、協働的・効率的な学校運営を推進する。
- (2) 生徒の学習意欲の向上に努め、主体的・対話的で深い学びに取り組む学習態度を育成する。
- (3) 学校の教育活動について広く情報を発信し、地域に信頼され、地域の期待に応える学校づくりに努める。
- (4) 高い洞察力と先見性を持ち、地域に根ざした特色のある教育活動を展開する。
- (5) 教職員個々の資質を向上し、学校の教育内容の一層の充実と教育活動の活性化を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	・学校だより・ホームページ、新聞等への 記事の提供など、本校の教育活動を地域に情報発信することができた。 ・業務見直し等を進めているところではあるが、平準化が進んでいない。 ・コミュニティ・スクールについて、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度と同様に予定した活動が出来なかった。	・次年度に向けてさらに充実させて欲しい。 ・次年度コミュニティ・スクールに係る取組においてもさらなる工夫や充実が必要である。
改善方策	・新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式の下、新たな取り組みや従来の取組を工夫・充実させる具体策を計画・実施していく。 ・学校だより等の情報発信やコミュニティ・スクール等の地域との連携をより充実させる。 ・業務の見直しをととして業務の平準化を進め、有機的な学校運営を推進できるようさらなる連携・協働体制を強化する。	
教育課程 ・ 学習指導	・個に応じたきめ細かな学習指導は概ね実現できた。 ・教科間等の様々な連携をさらに充実・発展させていく。	・個に応じた授業の充実をさらに図ってほしい。 ・地域でのキャリア教育を通して様々な連携の強化を図って欲しい。
改善方策	・個に応じたきめ細かな学習指導を継続し、教科横断やキャリア教育の視点でさらなる充実・発展を図る。 ・授業アンケート等を見直し、生徒の立場に立った授業改善を推進する。 ・新学習指導要領に即したカリキュラム・マネジメントの充実を図っていく。	
生徒指導	・新型コロナウイルス感染症の影響はありつつも、自己の健康管理意識を向上させることが出来た。 ・新しい生活様式の中で、主体的な活動が出来るようなものの見方や考え方を学んでいく必要がある。	・生徒の個々に合わせたきめ細かな指導を継続してほしい。 ・新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでの様々なボランティア活動等が出来なかったため、次年度以降何らかの手立てを講ずるべきである。
改善方策	・生徒の自主・自律の意識を涵養する。そのため、コロナ禍においても実施できる教育プログラムを編成する。 ・引き続き外部教育力の積極的活用を図る。	
進路指導 ・ キャリア教育	・3年生の進路指導について、全教職員の協力体制の下、取り組むことができた。 ・1・2年生におけるキャリア教育の取組を充実させることができ、組織的な指導をすることができた。	・次年度も進路決定に向けた取組に期待したい。 ・美瑛高校のキャリア教育をさらに充実させてほしい。
改善方策	・3年生の進路指導について、さらにきめ細かな指導を展開する。 ・1・2年生のキャリア教育について、関係機関と連携・協働しながらさらに充実させていく。	
健康安全指導	・新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、健康管理意識は向上した。 ・避難訓練等をととして危機管理意識を高めることができた。	・次年度も様々な取組を充実させてほしい。
改善方策	・様々な取組について、今後も外部教育力を活用しながら充実を図る。	
公表方法 ： 学校HP及び学校だよりに掲載し地域住民に公表する。		